

事業報告書

令和元年度 事業報告書

法人本部

令和元年度 社会福祉法人くすの樹会法人本部 事業報告書

理 念

私たちは、社会に資する者として、常に考え続け、行動し続ける努力をします。

基本方針

私たちは、私たちが営む施設が社会資源のひとつとして地域に開かれ、地域に暮らす人に愛され、自ら育ち、また育てられることを目指します。

実施事業

第2種社会福祉事業

保育所の経営

一時預かり事業の経営

令和元年度事業計画の達成状況

法人組織、経営、施設運営

本年度、制度改正以降初めての法人監査が行われ、理事会や評議員会の運営、議事録等必要な書類の整備の面できめ細やかに指導とアドバイスを受けた。今次の指導監査で丁寧に見て頂き、指導内容が具体的であったため、これまで慣習的に行っていた書類の作成についても大きく整理された。

令和元年度末をもって新制度移行時の評議員の定数についての 期間が終了したため、新たに3名の評議員が選出され、評議員会が7名の体制に移行した。

本年度は、あじさい、鯉田両保育園が幼保連携型認定こども園への移行申請を福岡県に提出した。移行に関しては、教育内容に係る書類の提出が多かったため、両園の現場の職員がそれぞれに園の保育内容を見直し、また書式を認定こども園に沿うものに変えながら、作成を行い、県とのやり取りをしながら完成させて提出した。結果、12月に、あじさい保育園は園舎の構造の問題から認定こども園への認可が下りないことが判明し、取り下げることとなったが、鯉田保育園は年度末まで移行の審査が継続し、3月31日に県より電話で認可が下りるとの連絡があり、認可保育所としては当園度末をもって廃止となった。

公益事業 花梨保育園においては、平成30年度末にその事業の実施自体は終了していたが、会計において処理すべき残額が残ったため本年度末でその処理を終え、会計処理は本年度をもって終了した。

保育の無償化の対応については、特段の混乱はなかったが、これまで保育料に含められていた副食費の徴収が開始された。これまで徴収していた主食費と取り扱いは現状同じになっている

るが、特に規模の大きい園では、その金額が大きいことから、今後の徴収方法が課題となった。

本年度は、世界的な新型コロナウイルスの流行後、特に2月中旬以降の園行事が多く中止、また形式を変更、役員会等も場所を移しての開催を行う等、例年通りの行事や会議の実施が難しくなった。通常保育も様々に感染予防対策を行いながらの運営となったため、平常時にはなかった物理的、精神的負荷がある中で、こどもの命をまず中心に考えるという方針で各施設、地域の実情に応じた運営を行った。

人材確保・職員の処遇について

人材確保については、全ての園において難しい局面ではあるが、鯉田保育園が数年にわたって実習生を経ての就職希望者を確保している。横浜地区は、紹介会社を経て就職希望者が多く見つかるが、その反面離職者も多い傾向にある。また、面接の約束をしても、当日になってキャンセルする者、採用内定後、就業直前にキャンセルする者も多く見受けられた。

当園度末の離職者の傾向としては、若年、単身者の流出が顕著である。飯塚地区においては、他の職種、また、同職種においては家賃補助のある都市部への流出、横浜地区においては、東京への流出が目立った。

本年度は、前年度費用負担に対して費用対効果の低かった企業主催の就職フェア等への出展を控え、市やハローワーク主催のフェア出展を中心に行った。横浜地区では全体的に立地で就業先を探している求職者が多く、当法人の施設立地から、駅前の胡桃館は応募者が多いが、銀杏保育園本園が苦戦した。半面、年度末に、保護者として園に通い続けていた方が次年度に向けて就職したいと申し出があり、採用に繋がった。

例年通り、全ての施設において、処遇改善加算Ⅱを取得し、該当する職員に対して支給を行った。例年と同じように、支給すべき金額と人数に制限がある為、本来支給すべきでないと思われる職員に支給せざるをえなかったり、支給したい職員に十分な支給が行えなかったりと、支給額や対象者の決定について今年度も難しい点があった。支給するべきではないが支給された職員については事前にこの助成の意味と、なぜ支給されるのかをなるべくわかりやすく説明を行うが、一堂に会して説明を行っても、ごく一部の職員によって理解が異なることがあり、今後の在り方に課題が残った。

公益的な取り組みについて

例年同様、飯塚地区の2園が交互に職員を派遣して、あじさい保育園とつどいの広場いづかにて、継続して子育て支援事業「ほっとルーム」を実施した。

鯉田地区では、地域の学校長、自治会長等「長」のつく地域の関係者が集まる「長さん会」が毎月開催されており、鯉田保育園も施設長が参画し、地域との連携を図った。また、例年通り毎月「ふれあい」事業を行い、地域のお年寄りを園に招いての交流と、給食の無償提供を行った。11月には、福岡県の委託事業として福岡県社会福祉協議会が実施する福岡ねんりんピックのプログラムの一つとして行われた小学生を対象として福祉職業体験を提供する「キッズケ

ア」にあじさい、鯉田両園から保育士を派遣し、小学生を対象として保育士体験を提供した。全施設において、2月中旬以降に予定されていた当法人施設で開催する、または園児が参加する地域交流、世代間交流等の外部との交流事業は新型コロナウイルスの影響で中止を余儀なくされた。

令和元年度重点項目について

① 人材確保と育成

昨年と同様、横浜地区については、単身の正規職員の横浜市以外の首都圏への転職のための離職が目立った。また、数日勤務してみても退職する「お試し就職」者が多く、就業前のイメージと就労希望者の持つイメージが合っていない点が課題に思われた。

就業後の育成についても、法人の進める保育をしっかり伝える以前に、その保育者が本当にこの保育がやりたいのかが疑問に思えることがあり、個人の保育感を強くもって法人の進める保育内容に反発され、離職につながることもあった。面接時には法人が大切にしていることや、保育方針の重要な部分については限られた中時間を割いて説明を行うが、当法人が取り組んでいる保育方法を経験したことのない就業希望者も多く、短時間に言葉で伝えることの難しさが課題として挙げられた。入職の時点で、法人の保育方針へのある程度の興味と理解が必要であり、まずは普段の保育自体の見える化をさらに進めることが重要であると認識した。

② 多様な働き方の実現に向けた制度の見直し

正規職員と非常勤職員であることに関係なく、仕事の能力への評価を処遇改善手当Ⅱの支給をもって行った。飯塚地区では、短時間職員の中で、扶養の範囲内で働く職員が少なく、更に減少しているため、追加の手当支給のハードルが低く、職務能力と貢献度に応じた評価が行いやすい環境であった。毎年、社会保険に加入している非常勤職員の割合が上昇しており、正規職員への転換も多くなっている。

横浜地区は、所得に制限を設ける職員が非常に多い事、最低賃金の上昇により、賃金の上昇に合わせて扶養の範囲を守るために更に勤務時間を減らす職員が目立つ。実力はあっても、就労時間が減少し、そこに手当を支給すると更に就労時間が短くなり、そもそも持っている実力を労働として提供してもらう時間が圧倒的に減少するため、評価と能力、賃金の支給のバランスが非常に難しくなっている。職員自身が、仕事面でも、金銭面においても、総合的に扶養を外れるメリットを感じられないためと思われるが、飯塚地区と同様の評価は困難である点が課題として残った。

③ 職員のキャリアパス、保育士業務の分野化、認定制度と給与体系の連動した人材育成シス

テムの構築

冬期の人事考課に合わせて情意考課表の見直しを行い、試用を開始した。職員一人一人が、法人から労働者としてどのような点が求められ、何をもって評価されるのかを明確に示すことが目的の一つであった。考課者からは、対象者の課題が見やすくなったと意見があったが、考課者による評価の偏りが十分に解決されておらず、考課基準の平準化が課題となった。また、人事考課時に面談を行っているが、個別の育成計画が明確ではなく、本人へのフィードバックを含めて、この点が課題として残った。人材育成については、職種分野ごとに育成計画と研修計画のある5か年計画を用いているが、職員に浸透していなかったため、周知が必要である。

令和元年度 あじさい保育園

- ・ 事業報告案
- ・ 年間行事執行表
- ・ 研修報告書
- ・ 一時保育利用状況年間実績表
飯塚市内・市外
- ・ 延長保育利用状況年間実績表
- ・ 休日保育利用状況年間実績表
飯塚市内・市外
- ・ 年齢別入所児童数

令和元年度 あじさい保育園事業報告書

法人の理念「私たちは、社会に資する者として、常に考え続け、行動し続ける努力をします」を元に全職員で「ひとりひとりを大切にした保育」を目標として取り組んできた。子どもの入所は年度当初より0歳児の入所児童数が多く、職員の雇用も充足していたので年間を通してほぼ定員を満たした入所状況であった。職員の採用については大学回りや保育実習からの採用をすることができた。また、職員の産休、退職、傷病での欠席により、日々の職員の配置には配慮を要した。

1、 実施事業

- | | |
|----------|--|
| ① 事業年度期間 | 平成31年4月1日から、令和2年3月31日 |
| ② 入所児童数 | 平成31年4月1日から、令和2年3月31日
年間延べ人数 1940名 (別紙参照) |
| ③ 開所時間 | 午前7時から午後7時まで実施 |
| ④ 保育時間 | 午前9時から午後5時30分 |
| ⑤ 保育事業 | 一時預り事業(自主事業)(別紙参照)
延長保育 (別紙参照)
休日保育 (別紙参照)
世代間交流事業・交流地域 |

2、 職員体制

今年度は新規採用と法人内の異動があり、主任保育士1名、保育士2名、栄養士1名の職員が新たに加わった。さらに年度途中で2名の保育士を雇用することが出来た。産休に入る職員が3名いる為、年度当初は職員配置を厚くしていたので、新入園児の受け入れはスムーズに行われた。しかし、1、2年目の保育経験年数が短い職員が多い為、クラス配置が難しく、保育経験の豊かな保育士が中心となってもスムーズにいかないことがあった。さらに年度内に退職、傷病で休む職員が出てしまい、年間を通して職員数は満たしていたが、全職員に負担がかかってしまった。

今年度は当初チーフという立場を作らずにクラス全員でいろんなことを決めていく様に考えていたが、クラス内で自然とチーフ的存在の職員ができ、若手チーフのクラスでは、クラス全体で盛り立てようとする姿があった。そのチーフは自分よりも年上の職員を指導することで苦労する姿もあった。この経験で若手チーフが育ちつつある。

同じ若手職員の中には、コミュニケーションがうまくとれず、課題が思うようにこなせないで苦労する姿もあった。法人の理念を理解して保育を進めていくには、OJTの確立と時間が必要となることが課題として残った。

3. 保育内容

保育のやり方や内容は指導する担任によって変わることなく進めなくてはならない。未満児クラスは育児マニュアルを活用して子どもたちの生活リズムの確立を援助し、日々の保育の中では、保育士との信頼関係を気づきながら、手あそび、わらべうたと一緒に楽しんだり、絵本を読んであげたり、リトミックあそびや粗大遊び等を通して、「早い時期から自己肯定感を持てる子どもに育てよう」がだんだん薄まってきているように感じた。次年度はこの部分に力を入れたい。

異年齢児クラスは、文学、アート、音楽、体育を各年齢に分かれて、課業を取り組んでいる。特に和太鼓、剣舞の取り組みは子どもたちが懂れている姿がある。年度末に発表をする場を設けているが、今年度はコロナウイルスの関係から剣舞は縮小して発表することになった。和太鼓は老健施設で交流後、太鼓を披露する予定であったが行くことができず残念であった。

今年度の行事は天候不順が多く、運動会の時間短縮、台風襲来でお泊り保育の延期、タベのつどいの時期・時間変更があった、温暖化が進んでいるので、行事の時期や方法を考えなければならない時期にきている。

体力の向上に向けては、久住登山を目指して低年齢児クラスから体力作りを兼ね少しの時間でも園庭に出ること、散歩に出かけていくことになっている。昨年は大津市で大きな事故があり、散歩に対しての意識を考えなおし、新たに散歩に出るようになった。

食育については、各クラスでのクッキングの回数が減っているので増やしていく。栽培保育については、保護者から畑を借用して、特に以上児クラスがサツマイモ芋の苗植え、水やりを行い、生長をまじかに感じていた。収穫時には、子どもたちの楽しんでいる姿があった。4歳児の高菜植えが2年目となり定着させたいと考えている。

4. その他の重要項目

- ① 幼保連携型認定こども園への申請を行ったが、必要とされる建築基準を満たさず、認可が下りなかった。次年度以降、大がかりな工事が必要となるが、工事を経てこども園への再度申請書を提出したいと思う。
- ② 保護者会役員との話し合いの機会を多く持つようにしていく。
たくさんの保護者に行事等に参加してもらうことや、保護者会主催で保護者向けの講演やクッキング保育などを計画していく。
- ③ 職員の雇用については、大学回り、実習生の受け入れ、ブース等に参加して、長く働いてくれる職員を獲得していくこと、働きやすい環境を整えていくことに今後も力を入れていく。離職予防についても、若い職員とディスカッションを行うことを計画し、離職に歯止めをかけたい。

5. 中長期計画

・長期計画

- ・法人理念を職員に指導する教育機能の確立
- ・地域に保育園の機能等を周知する機会を多く持つ
- ・施設の管理を定期的に行う（水回りや太陽光発電の点検等）

・中期計画

- ・あじさい育児マニュアルの完成
- ・勤務時間内での計画的な業務改革で仕事が終わる環境を整えていく。
- ・施設の管理を定期的に行う（床暖房・空調施設の点検等）

あじさい保育園 令和元年度 年間行事執行表

4月	1 (月) 6 (土) 17 (水) 25 (木)	入園式 クラス懇談会 園児歯科検診 内科健診
5月	18 (土)	親子遠足 (雨天の為中止)
6月	2 (日) 5 (水) 14 (金) 20 (木)	運動会 (伊規須小学校) 梅ちぎり (ぶどうグループ) 芋苗植え (ぶどうグループ) 芋苗植え (さくらんぼ組・りんご・ばなな・ぶどうグループ)
7月	4 (木) 6 (土) 8 (月) 29 (月) 30 (火) ~ 8/1 (木)	そうめん会 つどいの広場誕生祭り参加 (ぶどうグループ) 保健師巡回相談 (1回目) 稲築志耕館ボランティア活動 (5名) インターンシップ嘉穂総合 (3名)
8月	6 (火) ~ 8 (木) 9 (金) 21 (水) ~ 23 (金) 22 (木) 23 (金)	二瀬中学校職場体験学習 (7名) 園外保育 (絵本ミュージアム) ぶどうグループ カミイ組 飯塚第一中学校職場体験学習 (6名) 陶芸体験 (ぶどうグループ) お泊まり保育 (鯉田つどいの広場) ぶどうグループ
9月	14 (土) 18 (水)	タベの集い 軽費老人ホーム訪問 (ぶどうグループ)
10月	2 (水) 3 (木) 5 (土) 9 (水) ~ 11 (金) 15 (火)・16 (水) 16 (水) ~ 18 (金) 18 (金) 23 (水) ~ 25 (金) 30 (水) 31 (木)	園児歯科健診 園児健康診断 赤い羽根共同募金 久住登山 (ぶどうグループスイミー組) お芋掘り (さくらんぼ組・りんごグループ) 久住登山 (ぶどうグループカミイ組) 幼年消防祭り (ばななグループ) 久住登山 (ぶどうグループエルマー組) 二瀬交流センター祭参加 (ぶどうグループ) かぼちゃまつり (たてわりグループ)
11月	1 (金) 7 (木) 8 (金) 11 (月) 15 (金) 30 (土)	お芋掘り (吉北) ぶどうグループ 焼き芋パーティー 高菜植え (ばななグループ) 保健師巡回相談 (2回目) 片小フェスタ (ぶどうグループ) 七五三参拝 ねんりんピック
12月	21 (土) 24 (火)	おもちつき お楽しみ会
1月	7 (火)	七草がゆ、ハンドクリーム (野草) 作り
2月	3 (月) 8 (土) 18 (火) ~ 20 (木)	豆まき 生活発表会 (コスモスコモン中ホール) CAP (ぶどうグループ)
3月	25 (水) 28 (土)	お別れ会 卒園式

- *誕生会・・・毎月
- *体操教室・・・月曜日 (年間22回) ばなな・ぶどうグループ 後半よりりんごグループ参加
- *音楽リズム・・・月曜日 (年間36回) いちご・すもも・れもん・さくらんぼ組参加
- *スイミング・・・ばななグループ2回・ぶどうグループ6回
- *読み聞かせ・・・年間6回
- *わらべうた・・・年間5回
- *剣舞・・・ぶどうグループ
- *絵本の貸し出し・・・年間24回 りんご・ばなな・ぶどうグループ
- *デイスサービスいずみ・いずみの森訪問 年間10回

令和元年度研修報告書

あじさい保育園 (H31.4.1-R2.3.31)

日付	園内研修		食育研修		県内		県外	
	研修名	参加人数 (人)	研修名	参加人数 (人)	研修名	参加人数 (人)	研修名	参加人数 (人)
4月	読み聞かせ	25						
	和太鼓	7			福岡県保育協会保育士会筑豊地方「指針から読み解く子どもの運動」	1		
5月	わらべうた	25			飯塚市保育協会保育士会「危機管理研修」	1		
	和太鼓	7			第62回筑豊地方事業研究大会	20	第32期主任保育士・主幹保育教諭特別講座(前期)	2
6月	育児担当制研修	30			福岡県保育協会保育士会筑豊地方「アレキサンダーについて」	1		
	和太鼓	9			福岡県保育協会保育士会「保健衛生(保険計画)」	1		
	わらべうた	35			福岡県保育協会保育士会「いのちをいかに伝えていくこと」	1		
7月	読み聞かせ	25			飯塚市保育協会保育士会「保育がキレムと環境による教育」	1		
	和太鼓	7			福岡県保育協会保育士会「子育て支援」	1		
8月	和太鼓	7			福岡県保育協会保育士会幹部研修会「これからの保育に向けて」	3		
					福岡県保育協会保育士会筑豊地方「指針から読み解く子どもの運動」	1		1
	育児担当制研修	32			福岡県保育協会保育士会研修会「危機管理」	1	保育アップデートフォーラム(倉敷)	1
9月	わらべうた	23			嘉麻・飯塚地区保育協会研修会	1	第32期主任保育士・主幹保育教諭特別講座(後期)	2
	読み聞かせ	25			第21回福岡県保育協会協議会研修会保育士会研修研究大会	3		
	和太鼓	7			第48回飯塚市部落解放研究大会			
10月	読み聞かせ	25	令和元年度調理研修会	1	飯塚市保育協会保育士会「保育の質」	15		
	和太鼓	7	飯塚市保育協会保育士会「調理実習」	1	福岡県保育協会保育士会研修会「乳児研修」	1		
					飯塚市・嘉麻・桂川地区保育士会合同研修会「乳児保育の重要性と保育者の役割」	15		
11月	わらべうた	25			飯塚市保育協会保育士会「体育遊び」	15		
	和太鼓	7			福岡県保育協会保育士会「保育制度」	2		
					令和元年度福岡県保育所(園)長研修会	1		
					児童虐待防止研修会	1		
12月	読み聞かせ	25						
	和太鼓	7	令和元年度保育所(園)給食職員総合研修大会		福岡県保育協会保育士会筑豊地方「子どもを中心に保育の実践を考える」	1		
	わらべうた	25			令和元年度「保育(園)職員総合研修大会」	1		
1月	和太鼓	7			飯塚市保育協会保育士会「指針から読み解く子どもの運動」			
					令和元年度「保育所(園)長特別特別研修会」			
2月	読み聞かせ	25						
	和太鼓	7						
3月								

(令和元年度)

一時保育利用状況表 (市内)

あじさい保育園 (人)

年.月	飯塚市(1日)	飯塚市(半日)	小計
H31.4	2	3	5
R1. 5	1	2	3
6	0	1	1
7	1	5	6
8	1	0	1
9	1	1	2
10	1	0	1
11	3	0	3
12	1	0	1
R2. 1	2	0	2
2	1	0	1
3	0	0	0
合計	14	12	26

(令和元年度)

一時保育利用状況表 (市外)

あじさい保育園 (人)

年.月	飯塚市(1日)	飯塚市(半日)	小計
H30. 4	0	0	0
R1. 5	0	0	0
6	0	0	0
7	0	0	0
8	0	0	0
9	0	2	2
10	0	0	0
11	0	0	0
12	0	5	5
H31. 1	0	0	0
2	0	0	0
3	0	0	0
合計	0	7	7

(令和元年度)

延長保育利用状況表

あじさい保育園

月 \ 時間	6:01~ 6:30	6:31~ 7:00	7:01~
H31. 4	202	61	6
R1. 5	209	69	4
6	194	59	8
7	236	65	10
8	158	34	2
9	213	72	6
10	199	60	3
11	192	63	3
12	196	51	7
R2. 1	181	52	2
2	199	62	3
3	139	21	0
R元年合計	2,318	669	54

(令和元年度)

(市内)

休日保育利用状況表

あじさい保育園

年.月	市内						合計
	1日			半日			
	園児	園児外	計	園児	園児外	計	
H31. 4	27	0	27	0	0	0	27
R1. 5	47	2	49	2	0	2	51
6	13	7	20	0	0	0	20
7	12	5	17	0	0	0	17
8	26	5	31	0	0	0	31
9	28	13	41	0	0	0	41
10	31	11	42	0	0	0	42
11	30	7	37	0	0	0	37
12	31	6	37	0	0	0	37
R2. 1	28	4	32	0	0	0	32
2	32	16	48	0	0	0	48
3	31	12	43	0	0	0	43
合計	336	88	424	2	0	2	426

(令和元年度)

(市外)

休日保育利用表況表

あじさい保育園

年.月	市内						合計
	1日			半日			
	園児	園児外	計	園児	園児外	計	
H31. 4	0	0	0	0	0	0	0
R1. 5	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0	0	0
R2. 1	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0

令和元年度 各月年齢別入所児童数 あじさい保育園

()広域
全人数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4月1日	11	(1) 25	() 29	(1) 33	(1) 29	(1) 33	(4) 160
5月1日	11	(1) 25	() 29	(1) 33	(1) 29	(1) 33	(4) 160
6月1日	11	(1) 25	() 28	(1) 33	(1) 29	(1) 33	(4) 159
7月1日	11	(1) 26	() 28	(1) 33	(1) 29	(1) 33	(4) 160
8月1日	() 11	(1) 26	() 28	(1) 33	(1) 29	(1) 33	(4) 160
9月1日	() 13	(1) 26	() 28	(1) 33	(1) 29	(1) 33	(4) 162
10月1日	() 14	(1) 26	() 28	(1) 33	(1) 29	(1) 33	(4) 163
11月1日	() 14	(1) 26	() 28	(1) 33	(1) 29	(1) 33	(4) 163
12月1日	() 14	(1) 26	() 28	(1) 33	(1) 29	(1) 33	(4) 163
平成31年 1月1日	(1) 15	(1) 26	() 28	(1) 33	(1) 29	(1) 33	(5) 164
2月1日	(1) 15	(2) 26	() 28	(2) 33	(1) 29	(1) 33	(7) 164
3月1日	(1) 15	(2) 25	() 27	(2) 33	(1) 29	(1) 33	(7) 162

合計	3	14		14	12	12	55
	155	308	337	396	348	396	1940

令和元年度 鯉田保育園

- ・事業報告案
- ・年間行事執行表
- ・研修事業報告書
- ・一時保育利用状況年間実績表
飯塚市内・市外
- ・延長保育利用状況年間実績表
- ・年齢別入所児童数

令和元年度 鯉田保育園事業報告（案）

一人ひとりを大切にした保育を念頭に置き、育児担当制に取り組んでいき、子どもたちの最善の利益を優先にしながらの保育を再確認しながら進めてきました。子どもたち個々の発達等についても、クラス内の共通理解が重要な事も多々あるため、クラス会議の時間を設けていけるように、主任をはじめ各クラス間でも積極的に協力しながら時間を作り、話し合いを進めていくことが出来る様になってきました。

研修においては、キャリアアップ研修と共に、個々の職員の資質を伸ばすという観点からも、職員研修の充実をはかっていきたいと考え、市内の保育士会の研修や近隣の研修の参加に加え、倉敷市の公開保育や、子育て実践交流セミナー等に参加させて頂く事もできました。しかし、研修計画に基づく職員の資質向上までにはいたらなかったと感じますので、全体・個人に対しての研修の選び方を考えていきたいと考えます。

ふれあい交流会での世代間の交流は、年々高齢となられているということもあり、参加者数の減少がみられていましたが、昨年同様自治会を通してのお誘いをかけさせて頂き、新規の方の加入も見られました。子どもたちにとっても楽しい時間となり、また子どもによっては、高齢者の動きや大変さを理解し、一緒に寄り添う姿も見られ、今後も加入して頂ける方への発信や、内容を考えつつ継続していきたい事業と考えます。令和元年度は、このふれあい交流会に加え、社会福祉協議会を通して、地域の「いきいきサロン」にも、2回参加させて頂きました。このことが、今後ふれあい交流会にも繋がっていけるようにと考えています。

1. 実施事業

- | | |
|----------|--|
| ① 事業年度期間 | 平成31年4月 1日から令和2年3月31日 |
| ② 入所児童数 | 平成31年4月 1日 104名入所から
令和 2年3月31日 111名 年間延べ1,294名 |
| ③ 開所時間 | 午前7時から午後7時まで実施。 |
| ④ 保育時間 | 午前9時から午後5時30分 |
| ⑤ 保育事業 | <ul style="list-style-type: none">・延長保育：午後7時以降の利用は少ない。（実績は別紙）・一時預かり事業：自主事業として行う。・世代間交流事業：自主事業として、年間10回のふれあい交流会を行った。・地域交流：地域のお寺の花祭り、鯉田交流センター祭り
つどいの広場誕生祭り、いきいきサロンなどに参加した。・休日保育：両親が勤務で、3家庭の園児が定期的に利用している。（場所は、あじさい保育園） |

2. 職員体制

30年度末の職員の退職もありましたが、花梨保育園からの異動で主任1名、新規採用3名（内新卒2名）、年度途中で短時間勤務職員2名の雇用が出来ました。シフトにおいても、早出・遅出を短時間職員ですが、ほぼ毎日変わらない職員の対応で、保護者の安心感も得られ、人的環境的にも整っていたように感じます。

短時間職員も、扶養を外れ少しずつ時間を延ばしていく傾向にもあり、クラス内の仕事や行事の担当に、積極的に関わろうとする職員の様子も見られました。3歳未満児クラス・3歳以上児クラスの連携を十分にとり、保育士として、自分のクラスだけ・自分の働き方の範囲内だけに固執せず、園全体で連携できる体制も少しずつではあるが、できてきたように感じています。

昨年度は、保育実習生の受け入れはなかったのですが、自主実習の申し出を受け入れ2名を今年度へと繋げていくことができました。雇用できたことで終わらず、職員が保育にやりがいを見いだすことができ、定着し、保育の安定へと繋げていくことが通年の課題です。

今年度は、無事に出産を終え5月に復職1名（短時間職員）8月に復職1名（常勤職員）がおりますので、結婚・出産を経て我子と共に出勤し、我子にこそ我園の保育を受けさせたいとする先輩保育士の姿を若い保育士にも感じてほしいと考えます。

3. 保育内容

3歳以上児クラスでは、課業Ⅰについては計画を立て実行していくことが順調にいかず、行事に合わせたものになっていたように感じます。課業Ⅱについても、未満児クラスの職員との連携や詰めた話し合いをもつことが上手くいかなかったように思います。テーマ活動では、子どもたちとも活発な意見の出しあいが見られ、それぞれの年齢で出来ることで進めまとめながら、未満児クラスの子どもたちも巻き込みながら楽しむことが出来ていた。栽培や自然を楽しみながら、多くの発見や気づき驚き、五感を使った体験が少なかったように感じますので、子どもたちの発信を見逃さず、今後は計画の中に積極的に取り入れていくようにしていきたいと考えています。

育児担当制については新任の保育士もいる中ですが、クラス内で伝える側・受ける側の姿勢や態度も良く、共通理解ができつつあったが、疑問点や軌道修正が必要となる事もあった。自分で考えて活動できる子どもに育てていくという基本を大切に、職員一人ひとりが自分たちのしている保育が、子どもたちの発達の中のどの部分に関わっているのかという事をしっかり理解できるよう、園内研修を活用しながら、職員の資質向上に繋げていきたいと考えます。

濱崎先生の読み聞かせ・大屋先生のわらべうたの時間も、子どもたちと共に貴重な時間を職員の研修にもとらせて頂き、多くの事を生活発表会へと繋げていくことができたので、今後もより充実したものにしていきたいと考えます。

和太鼓に関しましては、平成31年度・令和2年度の新卒で入職の職員も興味関心はあり、学ぼうとする姿勢もありますが、子どもの指導までにまだ至っておりませんので、引き続

き学ばせていただきたいと考えます。

4. その他の重要事項

施設や設備の面では、建て替えを見通し、修繕か購入かなどその都度検討しながら、安全面・衛生面・快適性を重視しながら維持している現状です。

公立の民営化で、平成 21 年より「社会福祉法人くすの樹会 鯉田保育園」として運営が始まり、令和 2 年 3 月までに 263 名の卒園児を送り出してきましたが、令和 2 年 3 月 31 日に福岡県より設置認可通知書を受け取り、令和 2 年 4 月 1 日を設置日として「社会福祉法人くすの樹会 鯉田こども園」へと移行致しました。今後は、こども園として子どもたちの受け入れの幅を広めながら、保育教育を職員全体で進めていきたいと考えています。

令和元年度は、スムーズな認可・移行を最優先課題とし、職員全体できめ細かく確認しながら書類等の作成を進め、必要に応じて備品・消耗品の購入・製作をして頂き、設備面の充実を図ることもできました。

保育教育の共通理解や見直し、再確認の為に園内・園外研修への積極的な参加を勧め、子どもたちが安心・安定して過ごすことのできるこども園、保護者の方が安心して預けることのできるこども園に、より近づけていけるようにしていきたいと考えます。

子育て支援の一環でもある園開放も進め、地域の子育て支援の拠点の一つとなるように努めていきます。

鯉田保育園 令和元年度 年間行事執行表

4月	1日(月) 12日(金) 17日(水) 20日(土)	入園式 園児内科健診 園児歯科検診 クラス懇談会・保護者会総会・歓迎遠足(筑豊緑地)
5月	26日(日)	運動会(園庭)
6月	12日(水) 14日(金)	芋苗植え(鯉田) ひまわり・さくらグループ 芋苗植え(園舎裏の畑) こすもすグループ
7月	1日(月) 5日(金) 12日(金)～13日(土)	プール開き そうめん流し お泊り保育(鯉田つどいの広場) さくらグループ
8月	5日(月) 9日(金)	絵本ミュージアム(つき組) 絵本ミュージアム(ほし組)
9月	2日(月)～30日(月) 6日(金) 13日(金) 14日(土) 19日(木) 20日(金) 27日(金)	保育参加 スイミングスクール(さくら・ひまわりグループ) スイミングスクール(さくら・ひまわりグループ) 秋祭り ライオンキング鑑賞(さくらグループ) スイミングスクール(さくらグループ) スイミングスクール(さくらグループ)
10月	3日(木) 11日(金) 18日(金) 24日(木) 31日(木)	園児内科健診 秋の遠足・親子バス遠足(さくらグループ) 幼年消防ふれあい祭り(さくらグループ) 園児歯科検診 芋掘り(さくら・ひまわりグループ)
11月	1日(金) 15日(金) 10日(日) 18日(月)	芋ほり(こすもすグループ) 焼き芋パーティー 鯉田公民館祭り(さくらグループ) つどいの広場防災訓練参加(さくらグループ)
12月	7日(土) 21日(土)	生活発表会(サンシャイン鯉田) 餅つき
2月 3月	1日(土) 3日(月) 4日(水) 18日(水) 28日(土)	近畿大学九州短期大学オペレッタ観賞(さくらグループ) 豆まき お別れ遠足(園内) 茶話会(さくらグループ) 卒園式

*避難訓練(防災訓練)・・・毎月

*誕生会・・・・毎月

*クッキング保育・・・(0.1.2.3.4歳児クラス 年1回ずつ、5歳児クラス 年3回)

*世代間交流(ふれあい交流会)・・・年間10回

*和太鼓教室・・・毎週火曜日(月4回)

*わらべうた・・・年5回

*読み聞かせ・・・年6回

令和元年度研修報告書

嵯田保育園 (H31.4.1-R2.3.31)

日付	園内研修		食育研修		県内		県外	
	研修名	参加人数 (人)	研修名	参加人数 (人)	研修名	参加人数 (人)	研修名	参加人数 (人)
4月	和太鼓 読み聞かせ	4 保育士全員						
5月	和太鼓 わらべうた	4 保育士全員			茨城県万保育士研修会 指針から読み解く子どもの運動	1		
6月	和太鼓 育児担当制研修	4 保育士全員	茨城県万保育士会・松葉園舎研修会 保育園(所)におけるアレルギー対応の子どもへの対応	2	嵯田地区人権同和推進懇談会	1		
7月	和太鼓 読み聞かせ わらべうた	4 保育士全員 保育士全員	保育士及び給食担当者合同研修 いのちをいかにつなぐこと	1				
8月	和太鼓	4			福岡県保育協会 乳児研修			
9月	読み聞かせ わらべうた 育児担当制研修	4 保育士全員 保育士全員 保育士全員			嘉麻・飯塚地区保育協会研修会 危機管理	6	令和元年度公開保育 遍照小規模保育園(3日間)	1
10月	和太鼓 読み聞かせ	2 保育士全員	スチコン活用調理セミナー	1	飯塚市部落開放研究大会	2		
11月	和太鼓 わらべうた	2 保育士全員			福岡県保育協会 保育士研修会 感染予防について 第1回嘉麻飯塚地区事業主人権同和問題研修会 児童虐待防止講演会	2 1 1		
12月	和太鼓 読み聞かせ	4 保育士全員			福岡県保育所(園)長研修会(2日間)			
1月	和太鼓 わらべうた	4 保育士全員	保育所(園)給食研修会	1	保育園(所)職員総合研修大会	1 2		
2月	和太鼓 読み聞かせ 育児担当制研修	4 保育士全員 保育士全員			保育園(所)長特別研修会 第2回嘉麻飯塚地区事業主人権同和問題研修会	1 1	子育てセンター実践交流セミナー(2日間)	1
3月								

令和元年度 延長保育実績表 鯉田保育園

時間 月	6:01～ 6:15	6:16～ 6:30	6:31～ 7:00	7:01～
4月	106	57	12	0
5月	134	82	27	0
6月	109	77	42	2
7月	162	116	77	1
8月	102	76	34	0
9月	143	107	56	0
10月	160	113	48	0
11月	154	130	74	0
12月	162	136	81	1
1月	159	124	69	1
2月	149	116	75	0
3月	125	95	40	0
年間合計	1665	1229	635	5

令和元年度 一時保育利用状況年間実績表(自主事業)市内
鯉田保育園

	実施日数	半日	1日	合計
4月	0	0	0	0.0
5月	0	0	0	0.0
6月	0	0	0	0.0
7月	0	0	0	0.0
8月	4	4	0	2.0
9月	1	1	0	0.5
10月	5	3	2	3.5
11月	5	2	3	4.0
12月	4	0	4	4.0
1月	3	0	3	3.0
2月	5	0	5	5.0
3月	0	0	0	0.0
合計	27	10	17	22.0

延べ人数 27名

令和元年度 一時保育利用状況年間実績表(自主事業)市外
鯉田保育園

	実施日数	半日	1日	合計
4月	0	0	0	0.0
5月	1	0	1	1.0
6月	0	0	0	0.0
7月	0	0	0	0.0
8月	0	0	0	0.0
9月	0	0	0	0.0
10月	0	0	0	0.0
11月	0	0	0	0.0
12月	0	0	0	0.0
1月	0	0	0	0.0
2月	1	1	0	0.5
3月	0	0	0	0.0
合計	2	1	1	1.5

延べ人数 2名

令和元年度 各月年齢別入所児童数

鯉田保育園

()広域
全人数

年令 日付	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	全園児数 (広域 含む)
平成31年4月1日	10	(2) 22	14	(1) 23	16	19	(3) 104	104
令和1年5月1日	10	(2) 22	15	22	16	20	(2) 105	105
令和1年6月1日	11	(2) 22	15	22	16	20	(2) 106	106
令和1年7月1日	11	(2) 22	15	22	16	20	(2) 106	106
令和1年8月1日	12	(3) 22	15	22	16	(1) 20	(4) 107	107
令和1年9月1日	13	(2) 20	15	23	16	(1) 20	(3) 107	107
令和1年10月1日	14	(2) 20	15	23	16	(1) 20	(3) 108	108
令和1年11月1日	(1) 15	(2) 20	(1) 15	23	16	(1) 20	(5) 109	109
令和1年12月1日	(1) 15	(2) 20	(1) 15	23	16	(1) 20	(5) 109	109
令和2年1月1日	(1) 16	(2) 21	(1) 15	23	16	(1) 20	(5) 111	111
令和2年2月1日	(1) 16	(2) 21	(1) 15	23	16	(1) 20	(5) 111	111
令和2年3月1日	(1) 16	(2) 21	(1) 15	23	16	(1) 20	(5) 111	111

令和元年度 合計	(5)	(25)	(5)	(1)	0	(8)	(44)
	159	253	179	272	192	239	1,294

銀杏保育園・銀杏保育園胡桃館

令和元年度 事業報告書

添付資料

- ・各月年齢別入所児童数一覧（銀杏）
- ・各月年齢別入所児童数一覧（胡桃館）
- ・延長保育利用状況表（銀杏）
- ・延長保育利用状況表（胡桃館）
- ・一時保育利用状況表（銀杏・胡桃館）
- ・行事執行表（銀杏・胡桃館）
- ・職員研修実績表（銀杏・胡桃館）

令和元（2019）年度 銀杏保育園事業報告書

1. 基本方針

保育理念を基に、法人職員として欲しい人材の採用と育成、定着を課題に、働き甲斐のある職場の環境構築と保育内容の充実と安定を第一の目標に掲げ、自ら取り組む活動として、5部会を立ち上げ、部会活動を行った。

① 法人職員として、働き甲斐をもって働ける環境を構築する。

・環境・リスク部会合同の活動では、園内のリスク軽減のために環境整備を行った。保育室内の整理整頓、園庭の危険箇所点検、軽微な補修等を、自らの手で行うようになり、以前に比較して整理整頓ができてくると同時に、危険箇所や、細かなことによく気が付くようになり、軽微なことは、業者頼みでなく自ら補修したり、応急処理したりできるようになっている。

・絵本部会については、現存する絵本リストと絵本実物の照合と、リスト外絵本のリストへの追加、分類、ブッカーかけ等と、絵本コーナーのレイアウトを考えたり、変化させたりと、特に幼児の絵本を読む環境の構成に工夫をしている。現在 1200 冊を超えてきたため、管理方法を工夫する必要がある。

・玩具部会では、日課の中に手作り玩具を制作する時間を確保しようと工夫したが、現実にはうまく時間が作り出せなかったため、次年度の課題とする。職員の動きを効率的に行うと、ノーコンタクトタイムを生み出せる余地がありそうである。

・食育部会では、命の循環、食物の命をいただくことへの感謝、作り手への感謝等を伝えるために、野菜等の栽培計画を作り、土づくりや、播種や育苗、こっそり収穫（園庭の苺など）を含む収穫体験等、年間の中の生活の中の季節感を大切にしている。

また、5歳児のお当番活動として、米とぎ、水加減、炊飯、鰯節削りや、煮干しのワタ取り、など日々の生活活動の中で、保育者が「教えること」より「伝えること」を意識して対話することを大事にし、少しずつ子どもたちの中に積み重なっている。

- ② 保育内容の充実と安定を図り、利用者が安心できる保育園作りをする。
- ・ 育児担当制、異年齢保育について、保育のやり方ができるようになると同時に、少し余裕が感じられるようになってきたが、今どうすればよいか、やる方法はだんだんわかり、できるようになってきているが、それは何を根拠にやっているのか、原理原則がきちんと理解されているかどうかに関する理解差がある。

原理原則がわかり、意味を理解、意識しながら子どもに応答し、対話する保育に向かうための、基本研修の必要がある。

現場感覚としては、保育者が、子どもたちとの対話を通して、実行可能であるということがわかり始め、指示、命令されることを待つ姿勢から、子どもたちとの対話を通して、保育に落とし込むことができるようになってきている。

しかし計画性や、環境、物的・時間的準備に関しては、見積もりがまだ甘いため、今後の課題とする。

2. 令和元（2019）年度重点項目

- ① 法人理念、保育理念の共通理解と、実施している日常保育を客観視し、保育内容を深める。

- ・ 法人理念、保育理念は園の重要事項説明書に記載され、また、保育内容については、外部講師による定期的な現場研修及び理論研修を行いながら、現場からの疑問を解決する方法をとってきたが、まだ理解差が大きい。学んだことを、理解差がある中で、現場でどう実現していくか、いかに理解差を縮めていくかが課題として残った。

- ② 保育の方向性を一致させ、銀杏及び胡桃館の職員同士が協力関係を保ちやすくするために、定期的な職員会議を開催する。

- ・ 銀杏と胡桃館の職員の協力関係は、主任、中堅職員を中心に、連携が進み、両園合同での行事の話し合いがうまくできるようになっている。

- ・ 両園の年長児の交流が多くなったことにより、子ども同士、職員同士

の関係性がよくなり、合同の職員会議等を通して、職員同士顔の見える関係を作ることで、配置上の問題も解決できるようになっている。

- ③ 特に施設長、主任保育士、中堅保育士の意思疎通に重きを置き、法人の考え方を、短時間職員にまで浸透させることに努める。

・コミュニケーションによる情報共有に注力し、職員からの、ボトムアップできる環境ができてきた半面、コミュニケーションがうまく取れる職員とそうでない職員に偏りが生まれている。

コミュニケーションがうまく取れない職員の中には、問題提起を直接言えず、他人を介して遠回しに批判を伝えようとする風潮もあり、コミュニケーションの偏りが、職員間の不満につながる可能性があり早期解決を図る必要があるという、新しい課題が生まれている。

- ④ 银杏保育園・胡桃館共に第三者評価を受審するため、法人が目指す保育の基本を見直す。

・第三者評価の受審、及び結果の公表を行った。

・第三者評価受審前の、各人及び各クラスによる自己評価すり合わせ、保護者へのアンケート結果より、自ら行っている保育の強みや、弱みが表面化することで、園としての取り組み目標が明確になった。

3. 中期目標（平成 29 年 4 月～平成 34 年 3 月）中間報告

- ① 園内研修を通し、保育内容の充実をはかる。

・職員研修実績表のとおり、中堅職員以上のキャリアアップ研修が一段落し、中間報告時点の 2019 年は外部研修を抑制し、2019 年 4 月の熱傷事故を契機に、安全管理（リスクマネジメント）に関する園内研修、マニュアル見直し・改善の取り組みに切り替えた。

職員の中途採用時や、午睡時間を利用して、短い時間での研修を増やし、回数を重ねることで、理解浸透を図り、意識の風化を防ぐよう工夫した。

同じ内容研修でも、理解や問題意識の程度差が生じるため、全員参加で、しっかり時間をかけ、職員が意見交換できる園内研修を中期目標期間後半に向けて工夫していく必要がある。

・保育内容に関しては、育児担当制保育や異年齢保育を、何のためにやっているか、法人全体で取り組んでいる、子どもを主体とした保育の原理原則・基本研修を通じて、意識した保育ができることを継続する。

② 地域との交流を意識的に増やししながら、銀杏保育園や胡桃館でできる地域貢献を探る。胡桃館では、地域開放スペースを活用する。

・2019年度の間地点では、銀杏保育園での地域交流室に対する職員の「ランチルーム」という思い込みから「地域交流室」へ、本来の用途使用に向けて、絵本棚等の整理、環境整備に向かうように意識づけた。

環境部会、絵本部会、異年齢保育担当者が協力して取り組んでいる。

・秋に地区社協（主任児童委員）が行っている子育てサークルへ、地域交流室と園庭を開放し、在宅家庭の親子と、園児・保育者との交流を継続して行っている。

③ 年間休日を10日間増やし、実質上の処遇改善を行い、職員の自己研鑽がしやすい環境を整える。→ 年間105日から115日

平成31年度は、有給休暇5日を加え実質120日間の年間休日とする。

①～③の状況を評価し、保育の質向上と、職員の資質向上に役立つ環境づくりを行うために、組織内で働き方のルールを確立、周知する。

・平成31年度（2019年度）に年間休日115日に有給休暇5日を加えて実質年間休日を120日とした。

職員意識の中では、自己研鑽に対して、「自分の時間を使う」という意識が希薄なため、公休日を増加させた本来目的の理解を進める。

特にキャリアアップ研修については、本人経歴に属し、処遇改善手当（賃金改善）に直結しているため、自己のキャリアアップ、自己の処遇改善手当を確保するために、他の職員に負担をかけることが無いよう、可能な限り公休日、有給休暇等の自己の時間を利用した受講を勧めている。

④ 他機関、他法人との連携を行いながら、地域交流の充実を図る。

・地域小学校、区内保育所同士の交流を行い、特に5歳児については、同区内の地域小学校に就学する子ども同士が知り合いになる、顔見知り

になる取り組みに積極的に参加している。

- ・他法人との保育の取り組みに関する交流を行っている。
- ・担当課や、保健師、療育センター、種別の異なる施設等との連携を行い、配慮の必要な子ども、配慮の必要な家庭に対するケアに取り組んでおり、今後も継続していく。

4. 実施事業

- ① 銀杏保育園保育事業
- ② 銀杏保育園胡桃館保育事業
- ③ 一時預かり事業

5. 事業実施期間

平成31年4月1日から 令和2年（2020年）3月31日

6. 定員及び利用実績児数

銀杏保育園	定員 60 名	（年間延べ実利用児数 705 名）
銀杏保育園胡桃館	定員 44 名	（年間延べ実利用児数 504 名）

7. 職員体制については別紙資料参照

銀杏保育園・銀杏保育園胡桃館合算

配置基準	→	配置人数（平成31年4月1日現在）
施設長	1 名	→ 1 名
主任保育士	1 名	→ 1 名
保育士	13. 2 名	→ 34 名（常勤10名+短19名+派5）
調理員	3 名	→ 6 名（常勤3名+短3名）
その他	0 名	→ 5 名（事務1名：用務1名：保育補助3名）

銀杏保育園・銀杏保育園胡桃館（分園）は直線距離で約3km程度離れており、現実には2施設の運営を行っているが、本園と分園という位置づけのため、行政的には1施設の扱いである。

また、開所時間については、午前7時から午後8時と13時間開所を行っている。

そのため、職員の配置は、開所 13 時間の 2 施設分必要だが、配置加算等は 1 施設分であるため、職員処遇に関しては、常勤体制での余裕を持った配置が厳しく、短時間職員に頼っている部分が多い。

短時間職員の働き方については、所得制限（130 万円）以内で、社会保険扶養内の希望者が多く、週当たりの労働時間 30 時間以上の短時間職員が少なく週当たり 20 時間程度の就労時間の職員がほとんどである。

また、働く時間帯の希望制限が多く、午前 9：00～午後 2 時までの時間に多くが集中する傾向があるため、13 時間開所をカバーするために、職員数の多寡に偏りがあり、人が多すぎる時間帯と、厳しい時間帯があるため、わずかに配置基準を割る時間の穴を埋めるために、さらに人を増やすという悪循環が起こっている。時間と人の配分については次年度採用の課題としている。

人の多い時間に濃淡があることを逆に利用し、多い時間帯については、ノーコンタクトタイムを取り、時間内に保育事務の処理をする時間を確保しやすいため、職員日課の中に事務処理や直接保育にかかわらず業務を集中して処理する時間を組み込むように努めている。

仕事の仕方については、子どもにかかわる時には、余裕をもってゆったり関わり、それ以外では手早く効率的に業務をこなせるような、働き方の切り替えを自然にできるようになると、有効な時間が生み出せるのではないかと、業務分析を課題として模索中である。

以 上

2019年度 各月年齢別入所児童数

銀杏保育園

全人数

年令 日付	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	全園児数
2019年度4月1日	6	8	10	12	12	11	59	59
2019年度5月1日	6	7	10	12	12	11	58	58
2019年度6月1日	6	8	10	12	12	11	59	59
2019年度7月1日	6	8	10	12	12	11	59	59
2019年度8月1日	6	8	10	12	12	11	59	59
2019年度9月1日	6	8	10	12	12	11	59	59
2019年度10月1日	6	8	10	12	12	11	59	59
2019年度11月1日	6	8	10	12	11	11	58	58
2019年度12月1日	6	8	10	12	11	11	58	58
2019年度1月1日	6	8	10	12	12	11	59	59
2019年度2月1日	6	8	10	12	12	11	59	59
2019年度3月1日	6	8	10	12	12	11	59	59
計	72	95	120	144	142	132	705	705

2019年度 各月年齢別入所児童数

銀杏保育園 胡桃館

全人数

年令 日付	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	全園児数 (私的契約 含む)
2019年度4月1日		7	7	9	8	10	41	41
2019年度5月1日		6	7	9	8	10	40	40
2019年度6月1日		6	7	10	8	10	41	41
2019年度7月1日		7	7	10	8	10	42	42
2019年度8月1日		7	7	10	9	10	43	43
2019年度9月1日		7	7	10	9	10	43	43
2019年度10月1日		7	7	10	9	10	43	43
2019年度11月1日		7	7	10	9	10	43	43
2019年度12月1日		7	7	9	9	10	42	42
2019年度1月1日		7	7	9	9	10	42	42
2019年度2月1日		7	7	9	9	10	42	42
2019年度3月1日		7	7	9	9	10	42	42
計		82	84	114	104	120	504	504

2019年度延長保育利用状況表

社会福祉法人くすの樹会 銀杏保育園

	7:00~ 7:30	7:31~ 8:00	8:01~ 8:30	16:31~ 17:00	17:01~ 17:30	17:31~ 18:00	18:01~ 18:30	18:31~ 19:00	19:01~ 19:30	19:31~ 20:00	
4月	56	0	0	7	1	0	0	109	47	9	229
5月	56	0	4	0	0	0	0	125	63	16	264
6月	44	0	0	0	0	0	0	123	48	11	226
7月	37	0	0	1	0	0	0	114	43	8	203
8月	38	0	0	1	0	0	0	82	47	11	179
9月	31	4	6	7	4	3	0	115	39	12	221
10月	37	0	1	1	1	1	0	127	41	13	222
11月	34	1	1	3	1	0	0	117	38	12	207
12月	28	0	0	1	0	0	0	108	36	9	182
1月	18	0	0	0	0	0	0	91	41	12	162
2月	33	0	0	2	2	0	0	85	28	8	158
3月	29	0	0	0	0	0	0	78	33	3	143
合計	441	5	12	23	9	4	0	1274	504	124	2396

2019年度延長保育利用状況表

社会福祉法人くすの樹会 銀杏保育園胡桃館

	7:00~ 7:30	7:31~ 8:00	8:01~ 8:30	16:31~ 17:00	17:01~ 17:30	17:31~ 18:00	18:01~ 18:30	18:31~ 19:00	19:01~ 19:30	19:31~ 20:00	
4月	15	0	5	1	0	0	0	17	3	1	42
5月	18	0	0	6	0	0	0	22	6	0	52
6月	8	0	0	0	0	0	0	26	2	1	37
7月	18	0	0	2	2	0	0	17	2	0	41
8月	17	0	0	2	0	0	0	12	1	0	32
9月	18	0	0	0	0	0	0	11	1	0	30
10月	22	0	0	2	0	0	0	10	2	0	36
11月	16	0	1	1	0	0	0	15	5	2	40
12月	14	0	0	0	0	0	0	16	3	0	33
1月	14	0	0	0	0	0	0	12	2	1	29
2月	11	0	0	2	0	0	0	11	8	2	34
3月	21	0	0	0	0	0	0	13	1	0	35
合計	192	0	6	16	2	0	0	182	36	7	441

(2019年度)

一時保育利用状況表

社会福祉法人くすの樹会
銀杏保育園
銀杏保育園胡桃館

延べ利用児童数

年.月	銀杏保育園	銀杏保育園胡桃館	小計
H31.4	6	17	23
R1. 5	12	10	22
6	22	10	32
7	42	21	63
8	29	11	40
9	35	10	45
10	26	20	46
11	21	10	31
12	36	18	54
R2. 1	33	13	46
2	25	12	37
3	0	10	10
合計	287	162	449

2019年度 銀杏保育園・胡桃館行事執行情表

社会福祉法人くすの樹会 銀杏保育園・胡桃館

日付	行事名	参加対象	行事内容
4月			
1日	入園式(銀杏・胡桃)	新入園児・保護者、在園児	入園式及び担任紹介
13日	保護者懇談会(銀杏)	保護者	保護者、職員との懇談・交流
20日	保護者懇談会(胡桃)	保護者	保護者、職員との懇談・交流
25日	茶道教室(銀杏・胡桃)	年長児	茶道
5月			
8,9日	内科健診(銀杏・胡桃)	在園児	嘱託医による検診
11日	親子遠足(銀杏・胡桃)	在園児、保護者、祖父母	親子・祖父母との交流
15日	さつま芋苗植え(銀杏・胡桃)	年長児	芋苗植え※吉田さんとの交流
22日	梅もぎ取り(銀杏・胡桃)	年長児	梅もぎ、くさき永田保育園交流
23日	茶道教室(銀杏・胡桃)	年長児	茶道
6月			
19日	茶道教室(銀杏・胡桃)	年長児	茶道
20,21日	歯科検診(銀杏・胡桃)	在園児	嘱託医による検診
24日	プール開き(銀杏)	在園児	水遊びの約束、安全祈願
25日	プール開き(胡桃)	在園児	水遊びの約束、安全祈願
7月			
3,4日	流しそうめん(銀杏・胡桃)	在園児	夏の涼を感じる
5日	園外保育(銀杏・胡桃)	年長児	平塚七つまつり見学
12,13日	お泊り保育(銀杏・胡桃)	年長児	磯遊び、園内お泊りなど
19日	リトミック(銀杏・胡桃)	在園児	音楽リズム遊び
8月			
21日	リトミック(胡桃)	在園児	音楽リズム遊び
24日	夏祭り(銀杏)	在園児、保護者、祖父母、地域など	幼児お店屋さんごっこなど
31日	夏祭り(胡桃)	在園児、保護者、祖父母、地域など	幼児お店屋さんごっこなど
9月			
10日	保護者懇談会(胡桃)	年長児保護者	山登りについて
12日	リトミック(胡桃)	在園児	わらべうた・うたあそびなど
17日	プール納め(銀杏)	在園児	プール納め、掃除
	リトミック(銀杏)	在園児	音楽リズム遊び
18日	茶道教室(銀杏・胡桃)	年長児	茶道
20日	プール納め(胡桃)	在園児	プール納め、掃除
10月			
3日	運動会(銀杏・胡桃)	在園児、保護者、祖父母・地域	運動会 ※6月から延期
5日	リトミック	在園児	音楽リズム遊び
8日	大規模災害引き取り訓練(銀杏)	在園児、保護者	大規模災害を想定した引き取り
11日	大規模災害引き取り訓練(胡桃)	在園児、保護者	大規模災害を想定した引き取り
30日	芋掘り(銀杏・胡桃)	年少・年中・年長児	さつま芋収穫 ※吉田さん畑
31日	山登り(胡桃)	年長児	金時山登山(1泊2日)
11月			
1日	山登り(胡桃)	年長児	金時山登山(1泊2日)
7日	秋の味覚祭(銀杏・胡桃)	在園児、保護者、地域	秋の味覚を楽しむ
	尿検査(銀杏・胡桃)	在園児(2歳児～年長児)	尿検査
15日	七五三(銀杏・胡桃)	在園児、保護者(保育参加)	七五三製作、お詣り
16日	作品展(銀杏)	在園児、保護者、祖父母・地域	各クラスの作品展展示
20日	茶道教室(銀杏・胡桃)	年長児	茶道
21日	内科健診(胡桃)	在園児	嘱託医による検診
22日	焼き芋(銀杏・胡桃)	在園児	秋の味覚と自然を楽しむ
30日	作品展(胡桃)	在園児、保護者、祖父母・地域	各クラスの作品展展示
12月			
5日	観劇(銀杏・胡桃)	年長児	観劇「ライオンキング」
10日	歯科検診(胡桃)	在園児	嘱託医による検診
14日	餅つき(胡桃)	在園児、保護者、祖父母・地域	餅つき、伝統行事に触れる
17日	お話し会(胡桃)	在園児	わらべうた・うたあそびなど
21日	餅つき(銀杏)	在園児、保護者、祖父母・地域	餅つき、伝統行事に触れる
25日	クリスマス会(銀杏・胡桃)	在園児、保護者、祖父母	クリスマスを楽しむ、交流など
1月			
9日	リトミック(胡桃)	在園児	音楽リズム遊び
10日	リトミック(銀杏)	在園児	音楽リズム遊び
15日	茶道教室(銀杏・胡桃)	年長児	茶道
16,17日	絵本読み聞かせ(銀杏・胡桃)	在園児	講師による読み聞かせ
21日	戸塚区5歳児交流(銀杏・胡桃)	年長児	就学前に分かれ交流
21日	第三者評価(銀杏・胡桃)		第三者評価
2月			
3日	節分豆まき(銀杏・胡桃)	在園児	伝統行事を楽しむ
15日	生活発表会(胡桃)	在園児、保護者、祖父母・地域	成長の成果を発表する
18日	お話し会(銀杏)	在園児	わらべうた・うたあそびなど
20日	リトミック(胡桃)	在園児	音楽リズム遊び
22日	生活発表会(銀杏)	在園児、保護者、祖父母・地域	成長の成果を発表する
22日	親子味噌作り(胡桃)	保護者・地域	味噌作り教室
26日	梅の花見(銀杏・胡桃)	年中・年長児	梅の花見、引き継ぎ式
3月			
3日	ひなまつり会(銀杏・胡桃)	在園児	ひなまつり会
21日	卒園式(銀杏)	年長児・保護者	卒園式、謝恩会
28日	卒園式(胡桃)	年長児・保護者保護者	卒園式、謝恩会

日付	行事名	参加者	行事内容
10月			
5日	運動会(銀杏・胡桃)	在園児、保護者、祖父母・地域	運動会 ※6月から延期
8日	リトミック	在園児	音楽リズム遊び
10日	大規模災害引き取り訓練(銀杏)	在園児、保護者	大規模災害を想定した引き取り
11日	大規模災害引き取り訓練(胡桃)	在園児、保護者	大規模災害を想定した引き取り
30日	芋掘り(銀杏・胡桃)	年少・年中・年長児	さつま芋収穫 ※吉田さん畑
31日	山登り(胡桃)	年長児	金時山登山(1泊2日)
11月			
1日	山登り(胡桃)	年長児	金時山登山(1泊2日)
7日	秋の味覚祭(銀杏・胡桃)	在園児、保護者、地域	秋の味覚を楽しむ
	尿検査(銀杏・胡桃)	在園児(2歳児～年長児)	尿検査
15日	七五三(銀杏・胡桃)	在園児、保護者(保育参加)	七五三製作、お詣り
16日	作品展(銀杏)	在園児、保護者、祖父母・地域	各クラスの作品展展示
20日	茶道教室(銀杏・胡桃)	年長児	茶道
21日	内科健診(胡桃)	在園児	嘱託医による検診
22日	焼き芋(銀杏・胡桃)	在園児	秋の味覚と自然を楽しむ
30日	作品展(胡桃)	在園児、保護者、祖父母・地域	各クラスの作品展展示
12月			
5日	観劇(銀杏・胡桃)	年長児	観劇「ライオンキング」
10日	歯科検診(胡桃)	在園児	嘱託医による検診
14日	餅つき(胡桃)	在園児、保護者、祖父母・地域	餅つき、伝統行事に触れる
17日	お話し会(胡桃)	在園児	わらべうた・うたあそびなど
21日	餅つき(銀杏)	在園児、保護者、祖父母・地域	餅つき、伝統行事に触れる
25日	クリスマス会(銀杏・胡桃)	在園児、保護者、祖父母	クリスマスを楽しむ、交流など
1月			
9日	リトミック(胡桃)	在園児	音楽リズム遊び
10日	リトミック(銀杏)	在園児	音楽リズム遊び
15日	茶道教室(銀杏・胡桃)	年長児	茶道
16,17日	絵本読み聞かせ(銀杏・胡桃)	在園児	講師による読み聞かせ
21日	戸塚区5歳児交流(銀杏・胡桃)	年長児	就学前に分かれ交流
21日	第三者評価(銀杏・胡桃)		第三者評価
2月			
3日	節分豆まき(銀杏・胡桃)	在園児	伝統行事を楽しむ
15日	生活発表会(胡桃)	在園児、保護者、祖父母・地域	成長の成果を発表する
18日	お話し会(銀杏)	在園児	わらべうた・うたあそびなど
20日	リトミック(胡桃)	在園児	音楽リズム遊び
22日	生活発表会(銀杏)	在園児、保護者、祖父母・地域	成長の成果を発表する
22日	親子味噌作り(胡桃)	保護者・地域	味噌作り教室
26日	梅の花見(銀杏・胡桃)	年中・年長児	梅の花見、引き継ぎ式
3月			
3日	ひなまつり会(銀杏・胡桃)	在園児	ひなまつり会
21日	卒園式(銀杏)	年長児・保護者	卒園式、謝恩会
28日	卒園式(胡桃)	年長児・保護者保護者	卒園式、謝恩会

2019年度 銀杏保育園 職員研修実績表

社会福祉法人くすの樹会 銀杏保育園・胡桃館

日付	園内研修			食育研修			保育研修		
	研修名	参加対象	研修内容	日付	研修名	参加者	研修内容	日付	参加者
4月									
8日	育児担当研修(銀杏)	13名	環境、担当保育の基本編						
17日	園内研修(胡桃)	13名	安全管理マニュアル見直し						
25日	園内研修(胡桃)	10名	給食配膳マニュアル作成						
5月									
2日	わらべうた	9名	わらべ歌、語り技法	29日	衛生管理講習会	1名	集団給食における衛生管理	19日	組織マネジメント講習会
7日	リスクマネジメント研修(胡桃)	3名	安全・危機管理研修						
13日	リスクマネジメント(銀杏)	5名	給食配膳マニュアル見直し						
18日	育児担当研修(銀杏)	12名	玩具見直し	30日	衛生管理講習会	1名	集団給食における衛生管理		
23日	環境・リスクマネジメント(銀杏)	10名	環境整備年間計画作成						
31日	園内研修(銀杏・胡桃)	20名	各種マニュアル見直し						
6月									
3日	安全管理研修(胡桃)	9名	投薬について					13日	幼児小教交流事業
20日	リスクマネジメント(胡桃)	10名	アレルギー対応について						推進地区活動報告、エリア別交流
25/26日	育児担当研修(銀杏)	13名	担当制、異年齢児保育						推進地区活動報告、エリア別交流
27日	安全管理衛生(銀杏)	6名	プールにおける安全衛生					18日	専門性を生かした役割と課題について
28日	銀杏 公開保育	16名	公開保育、意見交換					20日	乳児期の発達と関わりについて
7月								27日	公開保育と講演、意見交換など
9日	読み聞かせ(銀杏)	11名	読み聞かせ、言葉遊び					4日	市立保育園公開保育
10日	読み聞かせ(胡桃)	10名	読み聞かせ、言葉遊び					16日	中堅保育士研修
8月									専門性を生かした役割と課題について
8日	リスクマネジメント(銀杏)	4名	給食配膳マニュアル見直し	19日	給食研究会	1名	調理実習、意見交換	22日	口腔疾患予防と口腔機能育成に関する知識
9日	リスクマネジメント(胡桃)	3名	安全・危機管理研修	21日	給食研究会	1名	調理実習、意見交換	25日	サマー・リフォー・ムスタディ
27日	第三者評価について	3名	評価の流れについて						こどものとも主催セミナー
9月									
5日	第三者評価説明会(胡桃)	12名	評価の流れと意義(胡)						
6日	第三者評価説明会(銀杏)	17名	評価の流れと意義(銀)						
11日	保育書式について	4名	CHS保育書式見直し						
13日	リスクマネジメント(胡桃)	7名	安全・危機管理研修						
10月									
								24日	接續期研修会
11月									1名
1日	育児担当研修(銀杏)	14名	担当制、異年齢児保育					14日	プロセス評価で保育の質向上
12月									1名
9日	育児担当研修(銀杏)	15名	保育環境と保育見直し					2日	アタッチメントと非認知
13日	育児担当研修(銀杏)	15名	保育環境と保育見直し					9日	異年齢児保育研修
								11日	保育実習指導者研修
								14日	幼保小連携フォーラム
1月									1名
16/17日	読み聞かせ	10名	読み聞かせ、言葉遊び	23日	給食会議(研修)	7名	作業効率、仕事の見直し	21日	安全管理研修
22/23日	リスクマネジメント、環境	9名	安全管理、感染症対応について						
2月									
6日	リスクマネジメント研修	7名	安全・事故予防研修					18日	看護職研修
3月									1名
28日	法人理念研修(銀杏・胡桃)	27名	法人理念確認						

(注: 佐藤、林田)

東京大学遠藤教授の講演(辻、佐藤、林田)

異年齢保育の理解と基礎

専門性を高める保育指導について

幼保小連携実践報告

怪我の応急処置・AED講習

看護専門性の向上